

カナダの金融市場動向 Weekly Report

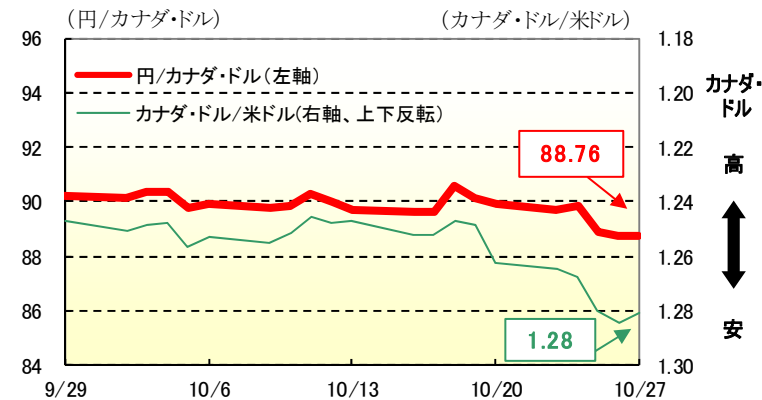
【2017年10月21日～2017年10月27日の推移】

【1】先週の回顧

先週のカナダ・ドル円は下落し、カナダ5年国債利回りは低下しました。

先週は、カナダで政策金利が発表され、市場の予想通り据え置きとなりましたが、声明文でカナダ銀行が早期の追加利上げに慎重な姿勢であることが示唆されたため、金利低下やカナダ・ドル円の下落圧力が高まりました。

【カナダ・ドル 為替推移】 (2017年9月29日～2017年10月27日)



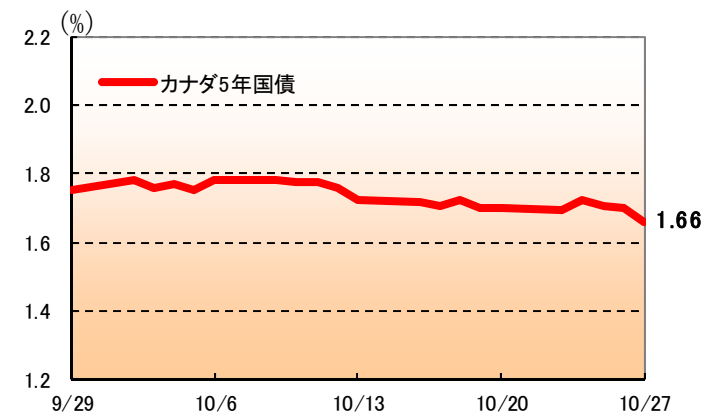
※四捨五入の関係で数値とグラフの目盛りが一致しない場合があります。
(出所) Bloomberg等より大和投資信託作成

【2】今週の見通し

今週は、カナダや米国の経済指標が注目材料です。カナダではGDP(国内総生産)や雇用統計、米国では雇用統計が発表されます。カナダの月次GDPは前月比ほぼ横ばいが見込まれており、前週のカナダ銀行による政策金利据え置きを正当化する内容となりそうです。

また、足元ではFRB(米国連邦準備制度理事会)議長の人事にも市場の注目が集まっています。各候補者の金融政策スタンスの違いから、どの候補者がFRB議長になるかという市場の思惑によって、金利や為替市場が左右される展開を見込みます。

【カナダ 金利推移】 (2017年9月29日～2017年10月27日)



(出所) Bloomberg等より大和投資信託作成

当資料のお取り扱いにおけるご注意

■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものであり、勧誘を目的としたものではありません。■当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。■当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は当資料作成時点のものであり、将来の成果を示唆・保証するものではなく、また今後予告なく変更されることがあります。■当資料中における運用実績等は、過去の実績および結果を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。■当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。販売会社等についてのお問い合わせ⇒大和投資信託フリーダイヤル0120-106212(営業日の9:00～17:00) HP <http://www.daiwa-am.co.jp/>